

快適なお風呂を演出するための5か条

01 自然の素材が使われている

高級旅館のお風呂を思い出してみてください。天然木や石、タイルなど「素材そのものの質感」を存分にいかしたものが使用されているはず。それは、自然の素材が癒しの空間の重要なポイントになるから。特に壁を替えると印象がガラッと変わります。ただし、お手入れが難しいので、それなりの手間をかける愛情が必要。



▲ イタリア製の天然石タイルをしきつめて高級感ある空間に

02 開放感がある

たとえばビジネスホテルのユニットバスのような狭く息の詰まるようなお風呂でリラックスできますか？ 限られたスペースしかない場合でも、扉を透明なガラスにしたり、大きな鏡を設置することで、開放感を演出可能。

03 自然の情景が見える

窓から見える富士山、高層マンションからの夜景、自慢の中庭。お風呂をリフォームする際に多いのが、「お風呂から景色を楽しみたい」という要望。それだけ景色の癒し効果は絶大だということ。「借景」(外の美しい景色を部屋にとりこみ装飾とする)という日本文化をバスルームにも取り入れてみて。立派な景色が身近になくとも、脱衣所に緑を置いてみたり、窓の外のパルコニーを花で飾ったりすることでも、情景を楽しめます。

04 風の流れる感じられる

露天風呂が気持ちよくて人気があるのは、外気の流れる感じられるから。そよそよとした微風を感じられるお風呂は、長湯にも最適。新しくバスルームを設置するなら、できれば窓を作って風を取り入れて。最近では2階の日当りや風通しが一番よい場所にお風呂場を設置する方も増えています。

05 細部がきちんとしている

ドイツの有名な建築家ミース・ファン・デル・ローエの有名な言葉で「神は細部に宿る」という言葉があります。タイルの貼り方ひとつとっても、細部の精密さや美しさ、こだわりが完成度の差を生み出すのですから、やはり信頼できる職人に依頼したいものです。



強化ガラスを多用し、広々とした印象に



日 本では今まで、多くのお風呂場が、家の北側の、最も日当りの悪い場所に画一的なデザインで作られるのがあたりまえでした。でも改めて考えてみて。家庭の中でさまざまな役割を果たすお風呂場をもっと素敵にすることが、心地よい生活のためにもっと必要なことだとは思いませんか？ 個性的なお風呂場造りの相談にのっている専門家、「東京バススタイル」の眞柄清司さんに「理想のお風呂場造りのポイント」について伺いました。

今のお風呂で

満足ですか？

お風呂を自分好みにしたいという方々の要望にお応えしていますが、ヨーロッパのようなおしゃれなホール1のバススタブにしたい、全身を伸ばせる広いバススタブにしたい、お風呂から常に人がいる気配を感じられるような設計で、お風呂をリビングのような家族をつなぐ場所にしたい等、要望は千差万別です。

PROFILE



眞柄 清司さん
<http://www.t-bath.net/>

一級建築士。一級建築施行管理技士。「日本のバスルームを変えたい」と、それぞれのニーズに合った個性的なバスルームを提案し、東京広尾のショールームにて随時相談にのっている。

ただひとつ言えることは、みなさんお風呂で癒されたいと思っっていること。これは普通のお風呂でも可能なことですが、どこか物足りなさを感じている方が多いんです。そこでタイルや素材を工夫することで、より満足度の高い空間になります。とはいえ自分の好みがはじめからはつきりわかるという方は少ないので最低5回は打ち合わせをしますね。そのときに大切にしているのが右ページの5か条。お風呂って、無心になって忙しい日常をリセットできる場所。もしリフォームをお考えなら、お風呂に自然の力を取り入れることで、本当のくつろぎを感じてほしいと思います。